

使える、医療機器

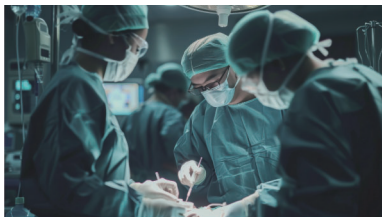
～臨床の立場から見た開発課題

～作る側と使う側の目線はなぜズレるのか？

オンライン開催

2025 1/30(木)

14:00～16:30



受講料 無料

定員 80名

対象 本テーマにご関心をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

プログラム

14:00～14:05 オープニング

14:05～15:05 「医師の手が感じる『使いやすい』医療機器とは?～」

Medical Perspective

前島 洋平(まえしま ようへい)氏

オルバヘルスケアホールディングス株式会社
代表取締役社長

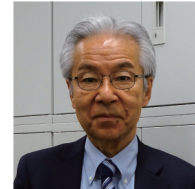


15:10～16:10 「膨大な『暗黙知』と経験を形にする新しいとりくみ」

Academic Perspective

谷下 一夫(たにした かずお)氏

一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ
理事長



16:10～16:30 Q&A

ご案内

高齢化の進展、医療の高度化により、医療機器の需要はますます高まっており、データ科学、AIの発展は個別化医療や予防医療の潮流を推し進めています。その中で、医療ニーズと日本の高度な技術の融合により医療機器産業の活性化と医療の質の向上を目指す医工連携の動きは様々な成果を生み出していますが、順調に進まない事例も起きています。

ドクターの頭の中には想像を絶する経験知や実践知がアイデアの宝として詰まっており、それが暗黙知になっていますが、それを如何に開発のアイデアにつなげることが出来るかが医工連携では重要です。しかし日本ではその過程が不足し医工連携の課題になっています。本講座は、医療者の声を「使える」「作れる」「ビジネス的に成立する」医療機器の開発につなげていくために、まずはドクターの“脳内”を理解しようとする試みになります。

KISTECはこれまで「作る側」「開発する側」の方を対象とした講座「作って、売る医療機器」を実施してまいりました。今回は、視点を変え、臨床医学の専門家であると同時に医療機器販売商社の経営にも携わる前島洋平氏に「使う側」の目線による医療機器開発についてお話しいただきます。またアカデミアの立場から数々の医療機器開発に携わってきた谷下一夫氏に「作る側」が医療ニーズをいかにとらえ、形にしていけるか、最近の試みをご紹介します。

日本の医工連携を強力に推進する2名の講師が、それぞれのお立場から日本の医療機器開発の現在地とこれから目指すべき方向を議論します。

本セミナーは科学技術イノベーション共創拠点推進事業の一環です。

主催：地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所

講師紹介

前島 洋平(まえしま ようへい)氏

オルパヘルスケアホールディングス株式会社
代表取締役社長



1991年 医師免許取得。1991年 岡山大学医学部附属病院内科研修。
1997年 医学博士号取得(岡山大学)。岡山大学大学院修了後ハーバード大学医学部に留学し、血管新生抑制因子をテーマとした研究論文が科学雑誌『Science』に掲載される。岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・CKD(慢性腎臓病)・CVD 地域連携・心腎血管病態解析学教授を経て、2014年オルパヘルスケアホールディングス株式会社取締役。2015年 同社代表取締役社長(現任)。オルパグループでは、医療器材事業を中核に、SPD 事業、介護用品事業などを行っている。医工連携事業をきっかけに、現在は一般社団法人日本医工ものづくりコンモズ理事、兵庫県立大学 特任教授などをつとめる。

谷下 一夫(たにした かずお)氏

一般社団法人日本医工ものづくりコンモズ
理事長



1969年 慶應義塾大学工学部機械工学科卒業、1975年 米国ブラウン大学大学院博士課程修了、Ph.D., 工学博士(東京工大)、1992年 慶應義塾大学理工学部教授、2000年 ESM2(France) 招聘教授、2012年 慶應義塾大学名誉教授、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構教授、東海大学医学部客員教授、2022年 学校法人北里研究所常任理事。研究としては、バイオメカニクス、生物熱流体工学とその医療技術への応用に取り組んで来たが、医学界の専門家との共同研究の長年の経験を生かして、KISTEC の医工連携講座、AMED や地方自治体での医工連携活動にも関わって来た。現在では、一般社団法人日本医工ものづくりコンモズ理事長として、医工連携支援活動に取り組んでいる。

開催主旨

新しい社会のありようとはどんなものでしょうか？その姿とそれを描き出す術が地域社会でも模索されています。持続可能性、脱炭素、健康長寿、平等性、多様性・・・キーワードも出揃って、目指すところは「フラット化」でしょうか。さてではその実現に向けて開発が進むテクノロジーの方はどうなのでしょう？果たして誰もがひとしなみにその恩恵を享受できるものになっていくのでしょうか？
デジタルテクノロジーの進化が、さまざまな場面で「時短」を可能にしています。それはあなたも時間の流れ自体を加速させるかのように認識を変えて行きます。そして研究者自身もまた、かつて考えられなかったほど短い時間で研究・開発を行うことが可能になったと実感しています。そのことは、研究に着手してから成果創出に至るまでのサイクルが短くなり、「超えられなかったハードル」を軽々と飛び越え、世に新たな知見をもたらすことが早くできるようになる一方、次に取り組むべき研究テーマも見つけ出さなければならなくなったことを意味しています。
テクノロジーは「できる」の領域を広げていきます。では「できる」はどこへ、何を目指して拡張していくのか？
本セミナーシリーズで、講師の方々とともに探っていきます。

申込要領

- Zoomの推奨環境を事前にご確認ください。(http://supportzoom.us/hc/ja/categories/9897839089677)
- PC、インターネット通信環境(有線LAN接続、Wi-Fi推奨)、PCに接続可能なマイク、スピーカーをご用意ください。(PCに内蔵されている場合は不要)
- 必ず、KISTECウェブサイトの「オンライン講座に関する規約」をご確認の上、お申込みください。
- 受講資格はお申込みをいただいた方(1申込1名)に限ります。
- 申込締切後でも、定員に余裕がある場合はお申込みを受けられる場合がありますのでお問い合わせください。
- 講義中、許可なく講義内容の一部、およびすべてを複製、転載または撮影、配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。
- やむを得ない事情により、日程・内容等の変更や中止をすることがあります。
- その他、お申込みについてご不明な点は、下記へお問い合わせください。

講座お申し込み



オンライン講座に関する規約



地方独立行政法人 KISTEC 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 教育研修グループ E-mail manabi@kistec.jp URL https://www.kistec.jp/ 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 東棟 1F Tel (044)819-2033

規約確認	<input type="checkbox"/> 「オンライン講座に関する規約」を確認しました	備考(連絡事項はこちらへご記載ください)
フリガナ氏名		* この講座のご案内はどこでご覧になりましたか ダイレクトメール(郵送) メールマガジン(KISTEC発行/学会や関連団体) 雑誌・会報等 チラシ ポスター KISTECホームページ 学会や関連団体のホームページ 講師から 上司から 受講生から その他()
フリガナ企業名		* 今後、KISTECからの情報をお送りしてほしいですか 郵送 : 要 ・ 不要 / メールマガジン : 要 ・ 不要
所属・役職名		* KISTEC科学技術理解増進パートナーシップの会員ですか (はい) ・ いいえ
所在地	〒 -	* 資本金 3億円以下 3億円超~10億円未満 10億円以上 該当なし
E-mail		* 従業員数 300人以下 301人~1,000人未満 1,000人以上
TEL FAX	TEL (内) / FAX	* 性別 男 女 * 年代 10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

太枠内は必須項目です。必ずご記入のご確認をお願い申し上げます。 *の項目は、該当するものに○・✓印をつけて下さい。 FAX送付先 044-819-2097 ※FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが着信確認のお電話をお願いします。

個人情報の利用及び提供の制限 申込書にご記入いただいた個人情報は、当所の事業等に関する情報や参加者募集の案内などの範囲内で利用または提供いたします。個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。